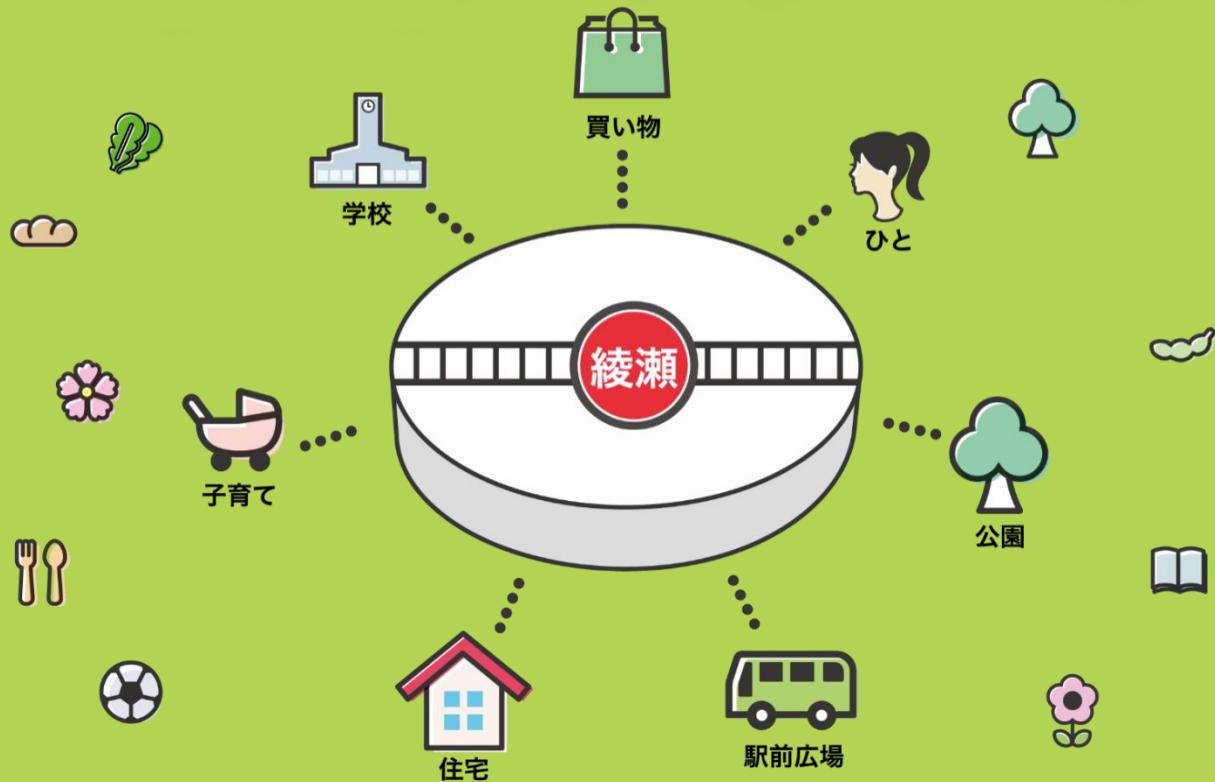


綾瀬のまちづくり



まち×デザイン=未来

エリアデザイン計画とは

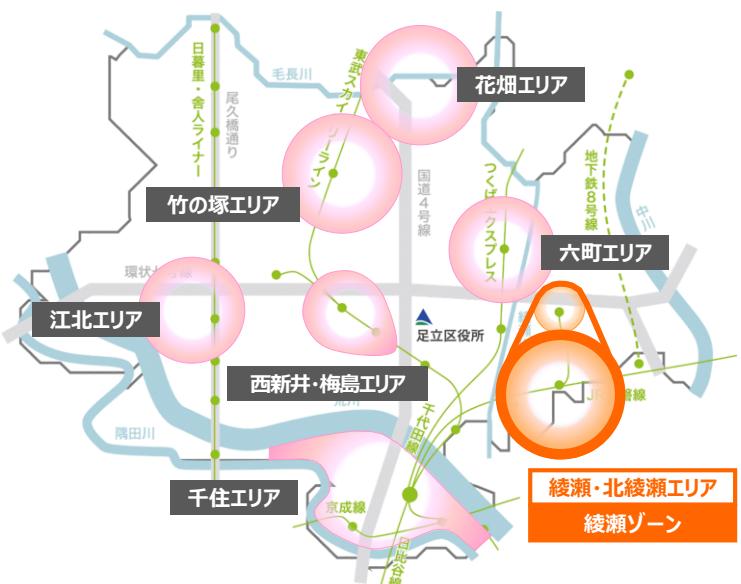
魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで、区のイメージアップを図る足立区独自のまちづくりの手法です。

現在は、「綾瀬・北綾瀬」「花畠」「江北」「六町」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」の7つのエリアが対象となっています。

綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画

綾瀬駅周辺では、2024年度までに東口駅前交通広場の整備を目標としています。合わせて、旧こども家庭支援センター等跡地は、綾瀬小・東綾瀬中の仮設校舎利用が2024年度で終了し利活用が可能となるため、まちが大きく変わる好機を迎えています。この変化のタイミングで、エリアデザイン計画を策定し、更にまちの魅力を高めていきます。

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画」の策定にあたっては、工



リアの特徴を示す統計データの収集とともに、2021年1月～2月に地域にお住まいの方々に対するアンケート調査（回答数750人）を実施しました。両者の内容を整理・分析することで、現在の綾瀬ゾーンが持つ「強み」と「弱み（課題）」を把握・整理し、区の基本計画や都市計画マスター・プラン等を土台としつつ、まちの将来像=エリアデザインを描きました。

「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画」では、誰一人取り残さない社会の実現に向け、経済・社会・環境の視点で、新たな価値を創出するまちづくりに取り組みます。

参考

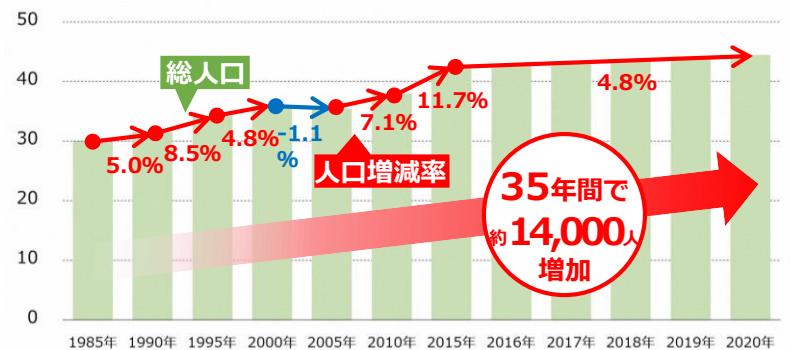
データから見る 綾瀬のまちの変化

綾瀬ゾーンの人口の推移

- 1985年以降も着実に人口が増加。
- 近年は鈍化が見られるものの、人口は増加し続けています。

ポイント1

人口は依然として
増加傾向！



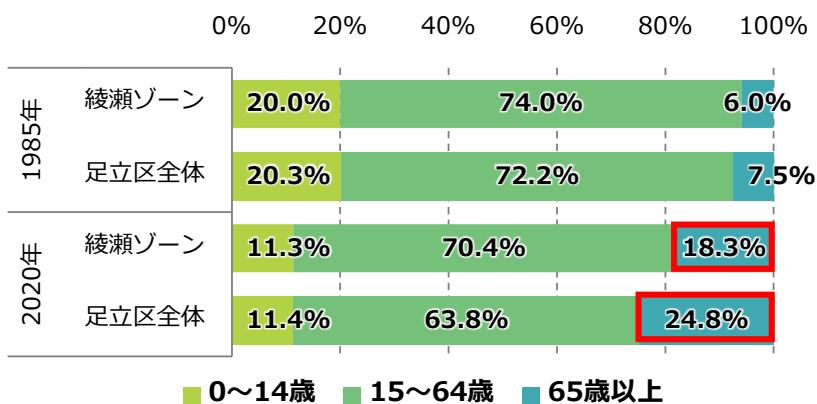
(出典:住民基本台帳 各年1月1日)

綾瀬ゾーンの年齢別人口割合の推移

- 綾瀬エリアは、1985年から2020年にかけて高齢人口割合が12%増加。
- しかしながら2020年時点でも20%以下と、足立区全体より6.5ポイントも低い割合。

ポイント2

足立区全体よりも
若い世代が多い！



■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上

(出典:住民基本台帳 各年1月1日)

綾瀬ゾーンの土地利用の変化

- 土地利用の変化を見ると、商業・業務系施設等が減少し、集合住宅が増加。
- 特に集合住宅が増加した東和地区と東綾瀬地区は、同時期に40歳未満の人口が増加。

ポイント3

集合住宅の増加により
若い世代が増加！



(出典:土地利用現況調査)



足立区 エリアデザイン推進本部

＜事務局＞

足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 南館9階

TEL

03-3880-5111 (代表) 03-3880-5812 (直通)

FAX

03-3880-5610

足立区公式ホームページ

